

滯米所感

文學博士 姉崎 正治

ハーバート大學に於て一學年間日本文明の講演をなして歸朝せられたる姉崎博士は歡迎會席上滯米所感を述べられたるが、大要次の如し

日本の大學と米國の大學とを比較して見ますと學科の分配などは日本の大學と異なり所謂「リベラル、エデュケーション」(人を人たらしむる教育)に重きを置き、常識の發達を主眼とする結果、學生は自由に何れの學科でも修むることが出来るやうになつて居るのであります。例せば哲學などは何れの分科の學生でも之れを修めるのであります。日本人は米國人といへば明けても暮れてもダラー、ダラーで全くダラー崇拜者の如く考へるやうであります、その觀察は全く誤つて居るので

あります。彼等はその哲學を修むるは理論を知る爲めではなく人間となる爲めであります。私の友人にアーサー・ウィングといふ人があります、氏は哲學者でありませぬ、現に市長ミッチェル氏を助けて警察署長をしてゐる人でありますが、氏は一方に於て、市政とか地方自治の研究をしつゝ、他方では心理學を研究して居らるのであります、氏の考によると警察といふものは法律を勵行エンフォースすることのみが職務でない、豫防といふこともその職務であるからその爲めには心理學なども研究せねばならぬといふのであります。

それで大學教育をうけたる者は修養を忘れず社會を忘れず、つまり立派な人格を養成して、しかも社會の適任者たるの心懸けを忘れないので、米國では「フィジエンシー」(適任)といふ語が流行語となつてゐる位であります。女子の大學にも哲學を課せられてありまして、女學生は私に佛教に就いて質問したこともありまして、日本の商人などが米國の商人と對話する際商業上の事では不都合はないが、食事の時などに談を宗教、哲學などに及

ぶと沈黙せねばならぬといふやうことになりま  
すのは兩者の教育方針の異なりより起ることであり  
ませう。

宗教の方では、中には随分舊弊のありますが、  
一般に教義の事よりは社會の實際問題に觸れるこ  
とに力めてゐるやうであります、然し宗教信仰な  
くても出来るやうなことも宗教家がやるといふ  
やうなことで實際問題を重んじ過ぎる半面には宗  
教の精神思想の方が貧弱になり行く弊を生じてゐ  
るやうであります云々。



## 遠甲二州旅行の談片

文學博士 加藤 玄智

八月九日御前崎の燈臺を一覽す、蓋し余が遠州  
白羽村の講習會に出演せし途次を以てなり、白羽  
村を距る約二里佐倉の郷に佐倉の池なる大池あ  
り、其昔法然上人の師皇圓阿闍梨龍華三會の曉、  
彌勒の出世を待つ甚永を慨し、此池に入水して  
龍となれり、法然上人之を濟度せりと傳ふ、年々  
秋の彼岸に近在の人々は勿論、遠方より參詣者來  
り、數十個の赤飯の櫃を池中に投じて龍に供養す、  
龍之を受けて赤飯を喫し盡して一旦沈みたる空櫃  
數日の中に再び浮き上がると云ふ、土地の某氏余  
に語りて曰く、井上圓了博士は之を單に物理的原  
因のみより説明して例の Priest-craft theory を以  
て解釋せられんとせり、高見如何と、余は未實地  
に之を觀察せしに非ざるを以て兎角の斷定を下す  
能はざるを憾みとす。

聞く、遠州金谷在の曹洞禪院高雄山石雲院は同